



吉子川



令和6年11月25日(月)
学校だより NO. 49
中島村立吉子川小学校
発行責任者 校長 木戸美智子

【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

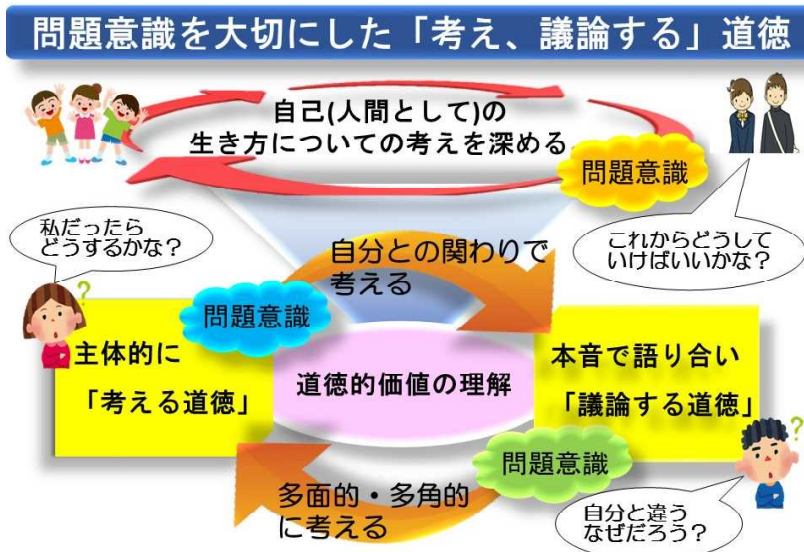
【よしコッピ】

吉子川小学校
のあやめの花に
住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子 学びの十か条
(11月)

できることからお手伝い「ありがとう。」
と言われる喜び

◇ 考え議論する道徳 ～6年生との授業から～ ◇



道徳が教科となって重視されているのは「答えが一つではない道徳的な課題を子どもたちが自分の問題としてとらえて向き合えるようにすること」と「考え議論すること」です。一般常識として正しいとされている決まりきった優等生発言で終始する授業ではなく、自分とは違う考え方に出会い、交流する中で、人間としての自分の生き方について考えを深める授業。それが求められています。

先週、6年生と道徳の授業を行いました。正しいことを行えないとき、後ろめたさ(正しいことを行ったときの充実した気持ち)を考えまし

た。6年生の素晴らしいのは、正しくないことをしてしまうときの心理状態を想像し、どうしたらそれを避けられるのかまで考えたことです。

「悩みはためない」、「だれかを独りぼちにさせない」、「相談する」、「分かり合えるまで話し合う」、「相手の気持ちをちゃんと考える」、「優しくする」等さまざまな考えが出てきました。考えを述べ合い、話し合う45分間はあっという間で、子どもたちも「え?もう終わり?」と驚いていました。

学校に通う意義は、多種多様いろいろあります。その中でも、私は特に、集団でしか育てることのできない「人間関係調整力」を協働的に学ぶことが大切だと考えています。友達との交流の中で互いを認め合い、自分たちを高め合う学級を、子ども自身が(先生任せ、人任せではなく)つくることで主体性を育てたいと思います。

吉子川小学校版「子どもと保護者、教員のウェルビーイング(Well-being)」心身ともに満たされた状態をであることを目指し今後も教育活動に本気で取り組んでいきます。



◇ 速報です! ～11/28(木)福島民友新聞朝刊～ ◇

創立150周年を迎えた吉子川小学校の学校紹介が、福島民友新聞の「スクスクスクール」というコーナーで紹介されます。11月28日(木)の朝刊です。